

☆ **大舞台での活躍誓う  
全国大会出場の函中生3人**



▲抱負を語る岩城さん、渡辺さん、石川さん（左から）

8月5日、函南中陸上部の岩城亮介さん、渡辺良太さん、柔道部の石川俊介さんが全国大会に出場することを森町長と潮木教育長に報告しました。

岩城さんは陸上 800 m と 1,500 m、渡辺さんは陸上 1,500 m と 3,000 m、石川さんは柔道 50kg級に出場します。

岩城さんと渡辺さんは昨年も全国大会を経験していて、岩城さんは「昨年のリベンジを果たして全国大会で優勝したい」、渡辺さんは「うまくインターバルを取り、全力で挑みたい」、50kg級県王者の石川さんは「チャレンジャーの気持ちで一戦一戦を戦いたい」と抱負を語ってくれました。

☆ **10年以上で5メートルへ  
町民の森 植樹状況を確認**

8月9日、畑・南箱根ダイヤモンド東側付近の山地でボランティアによる町民の森づくり事業が行われました。

暮らしの恩恵をもたらす山を育て適切に管理するため、近隣区民の皆さん、町議会議員、町職員など約 50 人が参加し、下草刈りや枝払いなどの整備を行いました。

町民の森は、平成 15 年に町制 40 周年記念として整備され、約 1 ヘクタールにモミジやサクラなど 500 本が植樹されました。当時は 1 メートル前後だった木々も 10 年以上で 5 メートルほどに育った様子を確認しました。



▲下草刈りなどを行い整備しました

☆ **県トラック協会東部と協定を締結  
災害時に支援物資輸送**



▲「災害時における支援協力に関する協定」を締結した森町長と遠藤副支部長（左から）

7月30日、函南町役場で町と静岡県トラック協会東部と「災害時における支援協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害が発生した際に円滑な支援物資の輸送体制を確保するため、町が管理する防災用備蓄機材などの避難所への配送、同支援物資の避難所への配送・一時保管、町が指定する物資集積所の支援物資の仕分け業務などをトラック協会が行います。

遠藤副支部長は「窓口が一本化され、対応も効率化される。防災訓練にも積極的に協力して有事に備えたい」と話してくれました。

☆ **来光川上流で水生生物観察会  
トンボの幼虫やサワガニを採取**

7月31日、桑原の馬坂橋付近の来光川上流で水生生物観察会が行われました。

同観察会には、小学4年生～6年生 18人が参加。身近な川の水質を確認し、石の裏などに住む生き物を捕まえて観察をしました。

参加した児童たちは、川にひざまで浸かり、石をひっくり返したり、網の上で石を洗ったりと生物を採集しました。約 30 分できれいな川にしか生息できないヒラタカゲロウやヘビトンボの幼虫などを採取し、参加した児童は「初めて見る生物ばかりで勉強になった」と感想を話してくれました。



▲採取した水生生物を観察する児童たち

☆ **親子でふれあい交流  
夏休みわくわくまつり**



▲音楽のリズムに合わせて楽しむ参加者たち

8月9日、かなみ知恵の和館で「夏休みわくわくまつり」が行われました。

未就園児から小学生までの親子を対象に、子育て交流センターでは三島市のママさんバンド「どんぐり'S」がファミリーコンサートを、図書館では本型の小物入れ作りなどのイベントが行われ、たくさんの親子連れが参加しました。

「どんぐり'S」のコンサートでは 19 曲が披露され、子どもたちは音楽のリズムに合わせて体を動かしながら演奏を楽しみました。工作教室では図書館の職員の指導のもと、段ボールや空き箱を使い、本型の小物入れ作りに取り組みました。

☆ **「はっきよお〜い。のこったっ!!」  
お相撲さんと交流**



▲力士と相撲をとる園児たち

8月3日、三島市内で夏合宿中の大相撲立浪部屋が西部保育園を訪れました。

同園には立浪親方と力士4人が訪れ、3歳～5歳児約 80人と触れあいました。園児らは寝そべった力士を転がして重さを実感したり、大人数で相撲の勝負を挑んだり、軽くあしらわれながら何度も立ち向かっていきました。この他に力士の両腕へのぶら下がりや質問などを行い交流を深めました。

幕下の天空海（あくあ）は「夏バテ気味だったが、園児に元気をもらった。9月場所では全勝して十両を目指したい」と話してくれました。